週間天気予報解説資料

2026年11月8日10時00分発表
気象庁

予報期間　11月9日から11月15日まで

◆今期間のポイント

＜主要じょう乱の概要＞

・台風第32号については最新の台風予報を参照。
・11日から12日にかけて、高気圧が黄海から日本の東へ移動する。
・12日から13日にかけて、気圧の谷が北日本付近を通過する。
・13日から14日にかけて、高気圧が沿海州付近から日本の東へ移動する。
・15日は、日本付近は気圧の谷となり、前線が本州付近にのびる。

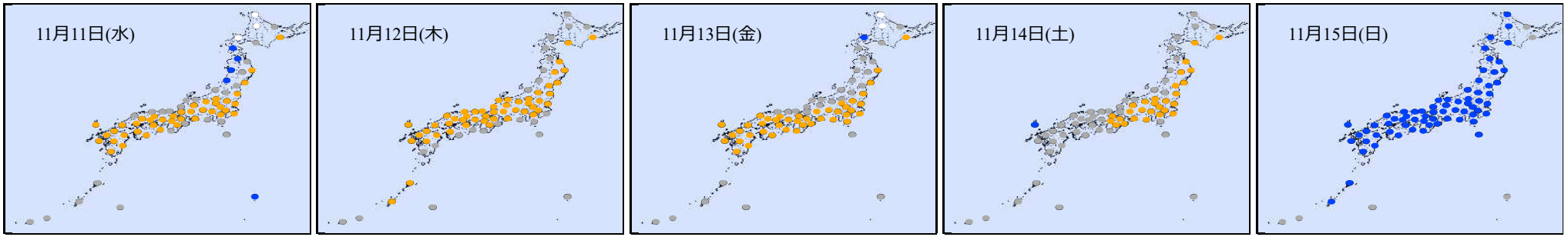
＜防災事項＞　11時、17時発表の早期注意情報に合わせて当項目は修正する場合があります。

・11日にかけて小笠原諸島では、台風第32号の影響で荒れた天気となり、台風の進路等によっては大荒れや大しけ、警報級の大雨となるおそれがある。

※最新の早期注意情報、気象情報、台風予報も参照ください。

以下の資料は、気象事業者等が、気象庁の提供する週間天気予報の根拠を理解するための補助資料であり、そのままの形式で一般に提供することを想定して作成したものではありません。

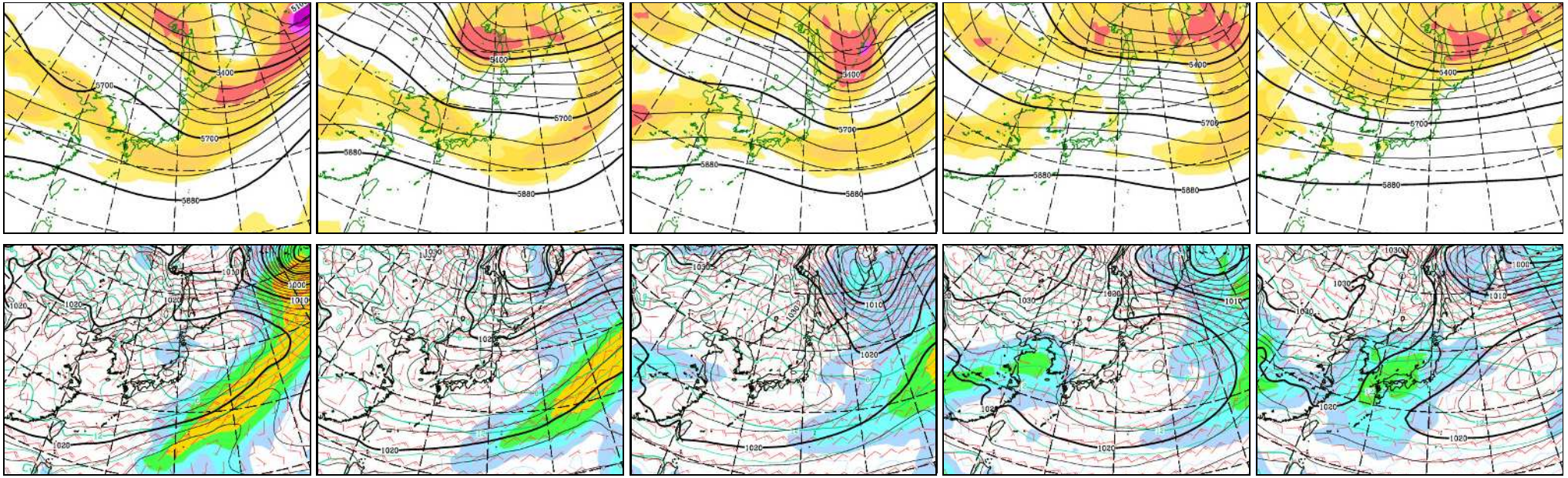
◆10時時点の３～７日目の天気予報案　(11時以降は気象庁HP等にて発表予報をご利用ください。)



・北日本日本海側と東日本日本海側は、曇りや雨または雪の降る日が多いが、12日は晴れる所がある。
・北日本太平洋側、東日本太平洋側、西日本は、晴れまたは曇りの日が多いが、15日は雨の降る所が多い。
・沖縄・奄美は、曇りまたは晴れの日が多いが、15日は雨の降る所がある。

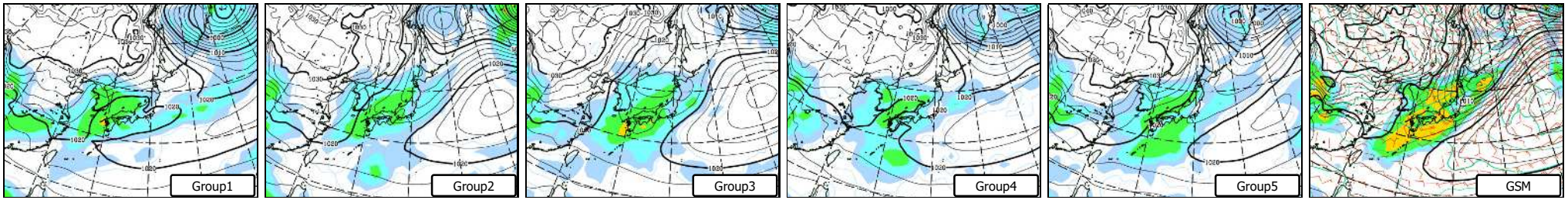
◆アンサンブル(ENS)平均予想図　上図：500hPa高度線、渦度　下図：海面気圧、地上風、850hPa気温、前24時間降水量(21時)

11月11日(水)　11月12日(木)　11月13日(金)　11月14日(土)　11月15日(日)



渦度(10^{-6}/sec以上)　0　10　20　40　80　100　風速　10KT　50KT　降水量(mm/24hours以上)　2　4　8　16　32　64

◆11月15日のENSクラスター平均(グループ1～5)とGSM予想図　海面気圧、地上風及び850hPa気温(GSMのみ)、前24時間降水量(21時)



風速　10KT　50KT　降水量(mm/24hours以上)　2　4　8　16　32　64

◆昨日資料からの変化と予想のばらつき

・最新のアンサンブル資料（ENS）は、昨日資料からの変化は小さいが、11日は日本付近に張り出す高気圧が強まった。
・15日は、日本付近に進む気圧の谷や前線の位置にモデル間の差が見られる。
・スプレッドは比較的小さいが、期間の終わり頃は特定高度線のばらつきが見られる。

◆ENSからの修正点とサブシナリオ等の補足事項

・予報は、おおむね最新のENSを基に考える。

今日から明後日までの解説は「短期予報解説資料」を参照ください。